

駅家小学校授業公開

1月23日に駅家小学校で授業（算数科・自立活動）公開を行いました。授業を公開したのは、各学年1クラスずつと特別支援学級2クラスでした。授業後の分科会では、本校の研究主題『児童が自ら考え学ぶ授業の創造～「学び」を深めるための問いや活動の工夫を通して』に基づき、本時のねらいにせまる主体的な学びになっていたかについて協議しました。講師の前田一誠先生からは、「子どもの活動に重点を置いて、教師の説明を減らしていくこと。まず、活動を試してみる。やりながら考えていくこともある。子どもたちが説明する時は、教科書の内容を具体的に簡単な言葉で説明する。」などのお話をいただきました。児童がペア学習等をする時、教師は評価するとともに、児童に伝えることによって更に意欲を持たせることが大切であり、今後とも、主体的な学びの実現に向けて、児童が「やってみたい」「解いてみたい。」と思うような魅力的な課題を設定し、単元全体を通して、深い学びになるよう、更に意欲をもたせる授業を目指していきます。



1年3組「かたちづくり」

同じ形の三角形を4まい組み合わせて、いろいろな形を作りました。ペアで、シルエットクイズを出し合って、形の作り方を説明しました。

2年3組「はこの形」

いろいろな箱の面の形を、自分たちで、紙に写し取り、面の形や数を調べました。わかったことを、他のグループの友達と自由に紹介しました。



3年2組「分数の表し方を調べよう」

同分母同士の分数のたし算の仕方を説明し合いました。「何分の1が何こ分」をキーワードにみんなで考えることができました。



4年3組「計算の見積もり」

自分のオリジナル問題をつくり、友達と解き合う活動をしました。友達の問題の面白さに気付いたり、どのように解いたかをペアで話し合ったりするなど、意欲をもって活動することができました。



5年1組「割合とグラフ」

日常生活の中で、〇%引きというシールを見たことがある児童たちは、その経験を基に、グループで話し合いながら割引後の代金を求めました。



6年2組「場合の数」

「総当たり表」を作成するための条件を、問題文から読み取りました。学力テストに近い内容でしたが、ほぼ全員が友達に説明することができました。



星1組 みんなで遊ぼう 「エラン・デ・ミテ」

順番に紙コップを開けると中からお寿司消しゴムが出てきます。何のお寿司が何個出てくるかは、運次第。マグロチャンピオンやウニチャンピオンに手作りメダルを渡しました。みんなの大好きなゲームです。

星2組 オリジナルのおりぞめ ラミネートファイルで作ろう

一人ひとり思いを込めて染めた染め紙を使って、折り染めファイルを作りました。作り方をお互いに教え合いながら協力して作品を完成させました。